

特集

TAW
10th
Anniversary Event
Report

TAW 10 年の軌跡 ～過去・現在・未来～

昨年9月24日(日)、東京青山にてTAW理論開発から10年となる記念イベントを開催いたしました。本号では当日行われたイベントの様態をレポートします。まずは、TAW 理論・フラクタル心理学開発者である一色真宇の挨拶をお送りいたします。

一般社団法人フラクタル心理学協会 会長
株式会社アクエリアス・ナビ 会長

一色 真宇 / Mau Isshiki

人生の目的へとたどり着くために

■ 発展するフラクタル心理学

昨年は TAW10 周年を迎え、記念イベントを開催することができました。全国からお越しくださったみなさま、誠にありがとうございます。

2007年に「真夜中の光 (Theory of an Advanced World)」を書きました。当時は講師は私一人でしたが、それから10年経ち、現在は全国9か所でフラクタル心理学のマスターコース講座が開催されている日もあります。このように発展するとは、本当に過去の思考が現実化したと思います。ここまで広まりましたのは、ひとえにご支援いただいております皆様のおかげです。本当にありがとうございます。



かさなければこの世界のおもしろさはわからないでしょう。私は、脳が本当に十分に使われたとしたら、どんな世界になるかを知りたいのです。

TAWを学んだ皆様はこの世界の構造をご存知ですし、脳の修正のしかたもご存知なのです。ですから、脳を誰よりも活性化できるのです。

脳を活性化し続けたら、10年後の世界はどんなふうになっているのでしょうか。それは現在の私たちが想像もしないすばらしいものでしょう。それを味わう楽しみこそが、私たちがここに存在している目的です。それを一人でも多くの人と分かち合うことがおもしろいから、私はこの理論を広めたいと思うのです。



■ 脳の機能を生かすことで見える世界

なぜこの理論を広めたいのか、ということを私自身考えてみるがあります。

たとえば、パソコンでできることの全部を知らずにいて、その10%しか使っていないとしたらどうでしょう。それでは、自分がいったい何ができるのかということはわからないでしょう。私たちの脳も同じで、その機能を十分に生

■ この10年の深層意識の変化

新しい考えが、深層意識の中で一定のレベルに達したとき、私たちの人生は大きく変わります。辛抱強く積み重ねましょう。ある日気が付くと、世界がすっかり変わってしまっていたという日が来るでしょう。

記念イベントでは、たくさんの方々に、今までの10年間にどんな変化を起こしたかをお話いただきました。それは、私の深層意識の変化であり、皆様の深層意識の変化です。それを自分のこととして味わいながら、自分の変化をさらに高めましょう。そして、本当の人生の目的へとたどり着くことを楽しみにしましょう。